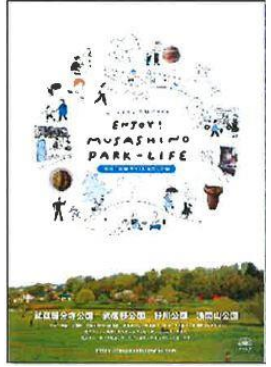


令和2年度都立公園サポーター基金

駒沢レストランの売上を活用した事業報告

16件 うち5件辞退及び中止

	事業内容	概要	画像
1	■地域・レストラン協力イベント実施	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となった地域・レストラン協力イベント「駒沢ファンタジア」の代替として、オンラインイベント「駒沢ファンタジア・オンライン」を開催。過去にイベントに参加した店舗・団体等の協力を得て、キャンドルリレー動画を製作し、公開するなど、地域連携イベントの新たなあり方を開拓するとともに、周辺地域の活性化にも貢献した。	
2	■避難者による避難所の自主運営講座（第3回）	2019年度に実施した「避難者による避難所の自主運営講座」の実践編を実施。講座で学んだことを活かし、本番に近い環境で訓練した。	
3	■近隣町会等地域住民との災害時対応合同訓練	レストランでの災害時対応をより実践的に行えるようにするため、協力者となりうる近隣住民への機能説明や合同訓練を実施した。協会職員により実施したため実施費用無し。	
4	■防災クッキングレシピブックの作成	災害発災時の在宅避難を想定した食事作りについて、ポリ袋を使った調理法を載せたレシピブックを作成・配布した。	
5	■オリ・パラ機運醸成事業の実施→中止 【理由】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止並びにオリンピック・パラリンピック東京2020大会延期のため	オリンピック・パラリンピック東京2020大会でライブサイト会場となる公園でオリパラ関連イベントや装飾などを行い、機運醸成を図る。	

6	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○小山田緑地キッズイベントデイズ	新型コロナウイルスの影響で中止になった屋外イベントの代わりに、代替策を工夫して実施した。昔遊びについて地元の方にインタビューした内容についての展示、「親子でサッカー教室」の代替として、地元のJリーグチーム「JF町田ゼルビア」から借用した室内でできるサッカーの練習方法の動画をサービスセンターでの放映を行った。また、「雑木林ヘルシーウォーキング」と称して、セルフガイドシートの配布、看板によるルートのご案内を行い、小山田緑地の魅力を向上させ、その魅力を最大限に体験していただくことができた。	
7	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○大神山公園ビオ・アース映画祭→中止 【理由】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため	映画館のない父島において、世界自然遺産の島の公園にふさわしい、世界から集められた自然や野生生物等の映像作品を上映し、自然環境保全への意識の醸成と映像の感動を主に島民に伝えることを狙いとする。	
8	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○武蔵野中央公園ナチュラルコンテナ・ガーデンショー(仮称)→辞退 【理由】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止並びにオリンピック・パラリンピック東京2020大会延期のため	東京都が掲げる「エコ五輪」の理念に賛同し、既存花壇の自然な雰囲気を活かすため、ワイン箱や、コーヒー生豆を入れる麻袋”ドンゴロス”を二次利用したコンテナ・プランターを用い、寄せ受け教室を実施。審査会を経て、期間中に全作品を展示する。	
9	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○武蔵国分寺公園（野川公園）「まちガイドマップ」の印刷	公園や周辺地域の情報を発信する「まちガイドマップ」を作成・配布し、武蔵野地域に愛着を持ってまちをより楽しんでもらった。	
10	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○陵南公園Ryonan Picnic Cinema（陵南ピクニックシネマ）→辞退 【理由】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため	元オリンピック会場でもある公園の野球場を活用して、野外映画会を開催する。野球場には広い芝生が広がっているので、ピクニックシートに座り、夕暮れの雰囲気を味わいながら映画を楽しんでいた。	

11	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○小峰公園里山における豊かさや賑わいの創出事業	「多摩の里山見本園」をコンセプトに運営する小峰公園が開園30周年を迎えることを記念して、里山の賑わい創出を目的とした多角的なプログラムを実施した。地域の農作物・特産品の実費販売や秋川渓谷に関する展示作成、開園30周年を記念した限定グッズの販売や配布、SDGsに関するブース設置等を行うことにより、公園やビジターセンターの魅力発信や地域振興につなげることができた。	
12	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○小宮公園カフェ＊Day	小宮公園と公園周辺地域の方々、またコロナ禍において初めて来園された方に、小宮公園でしかできないカフェという公園の自然を楽しむながら、ゆっくりと落ち着いて過ごせる場所を提供できた。大人だけでなく、子どもたちが自分で考えて遊ぶ落葉遊園地エリアや、親子で楽しめるブックカフェやハンモックコーナーを展開し、都市の中にあり自然が残る公園の魅力伝えることができた。	
13	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○狭山公園「フォレストアドベンチャー」 →辞退 【理由】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため	スポーツ&アウトドア感覚の里山アクティビティとして、親子向けの木登り体験プログラムを実施。インストラクターとともに、ロープと専門道具を使用して木から木へと渡る体験。	
14	■他公園でのイベント・魅力アップ事業の実施 ○狭山公園「さとやまナイトフェスティバル」におけるミュージックライブ	「おそとでステイホーム」をコンセプトに、イルミネーションで非日常空間を演出し、地元ミュージシャンによる野外ライブを無料で開催した。参加申込が2日間で満員（定員150人）となった。参加できない人向けにはYouTube Liveで生配信を行なった。アンケートでは満足度は90%と高く、また開催して欲しいとの声も多く寄せられ、公園の魅力向上とサービスの充実につながった。	
15	■防災エコバッグの制作	2020年度駒沢レストランカフェ還元事業として、防災自助・共助の普及啓発のためおこなう防災イベントの参加者等へ配る防災グッズとして、公園協会オリジナル防災エコバッグを製作した。各防災公園にも配布し、防災講座、イベント等で活用していく。	
16	■災害時対応設備等の拡充・維持管理等	・レストラン前植栽の補植 ・防災備蓄品等買替 ・補充分防災備品等追加分 ・Wi-Fi費用 ・IP無線費用 等	